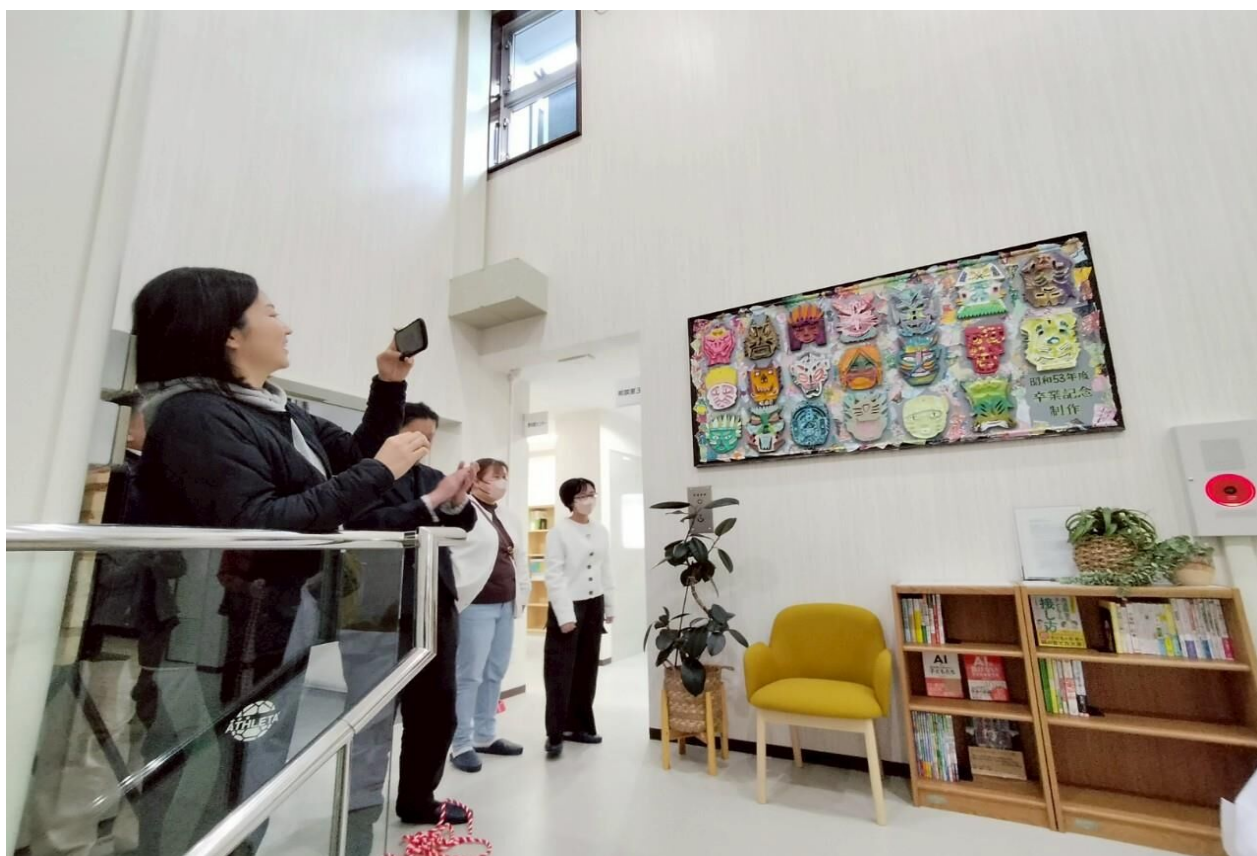


# 「子どもたちに最高の思い出を！！」 その思いに企業が賛同し、大きなアートプロジェクトに発展!! 約 50 年前の戎小学校卒業制作が鮮やかによみがえる!!

泉大津市教育支援センターには、学校に行きづらい子どもたちの居場所として「スマイルステーション」が開設されています。

施設の老朽化に伴い、センターの移転が決定し、今まで使用させていただいていた戎小学校の旧校舎も取り壊しになることが決まりました。『もうすぐ取り壊してしまうなら、今までお世話になったこの施設の真っ白な廊下の壁に、ペンキアートで「笑顔の未来」を描けないだろうか。それはスマイルステーションに通う子どもたちにとって最高の思い出になるのではないか。』と考えたことがこの企画のスタートです。

堺の塗装業 株式会社 Add Wall（社会貢献事業として堺市内の小学校で出前授業を実施。余剰ペンキを利用し、運動場の鉄棒などの遊具を子どもたちと一緒に塗り替えを行っていた。）に協力を依頼しました。



## 2025.4.4 作品の完成を祝う除幕式の様子（新しく改装された新教育支援センターにて）

話の内容に、共感していただき、翌日、社長の上山浩之さんが現場視察に来てくださいました。小学校の古い校舎の面影が残るスマイルステーションの風景に「おもしろい」「すごい」を何度も連呼される上山社長から一言。「ここの壁にペンキアートをして、取り壊してしまったら、見てもらえなくなりますね。うちのデザイナーの小宮が和泉市の商業施設の建て替えの際に仮囲いをする白いシートに絵を描いたんです。」とその時の作品を見せていただきました。殺風景な場所が温かな空間に様変わりしていました。

白い大きなシートに書けば、新センターに子どもたちの作品を展示できます。  
「子どもたちにとって大きな大きな自信になる。これはいいや。」と感じました。



〈2025.3.4 スマイル生・保護者・当該学校の先生方・スマイルの卒業生 23 名が参加〉

2 枚のシートにはそれぞれ、「あたりまえにありがとう！！」の思いを込めました。

『悩むことも、つらいこともたくさんある。だけど、太陽があり、空気があり、水があり、動物・植物がいて、私たちは生きることができる。わたしたちが作り出すことのできない大自然の恵みは当たり前なんかじゃない。とても有難いものなんだ。今ある幸せに感謝しながら、楽しんで生きていこう。』

『私たちが暮らす、家も、車も、洋服もすべて、私たちよりも先に生きた先人たちが作り出してくれたもの。その恩恵を受けて私たちは生きている。それは当たり前なんかじゃない。とても有難いものなんだ。先人の働きに感謝しよう。そして人間はこんなにもすごい力を持っている。自分の大きな大きな可能性に気づこう！！私たちは未来の人を幸せにしていく大きな可能性を持っている。その可能性を未来に向けて輝かせていこう。』

そんな思いを子どもたちに伝えながら、制作しました。

**アーティスト小宮さえこさんのひらめきから大きなアートプロジェクトに発展！！**



旧支援センターに展示されていた泉大津市立戎小学校 昭和 53 年度卒業制作



アーティスト小宮さんの目に、昭和 53 年度の戎小学校の卒業生の卒業制作が目に残りました。「ここを巣立っていった卒業生が制作した木彫りのお面をベースに新たなペンキアートを加えて「未来へつながる笑顔のリレー」を表現しよう」とご提案いただき、スマイル・カラーレイというタイトルには Smile(笑顔)・Color(彩り)・Relay(つなぐ・受け継ぐ)・Ray(光のように広がる)という意味を込めていただきました。

スマイルステーションに通う子ども達が今の自分たちの自由な色彩によって、新たな命を吹き込み、新しい支援センターを温かく彩るそんなストーリーを一緒にお話しすることができ、本当にワクワクしました。



〈2025.3.12 スマイル生・保護者・当該学校の先生方・スマイルの卒業生 26 名が参加〉

卒業生の作品に敬意を込めながら、令和 6 年度のスマイルステーションに通う子どもたちは、指先で木に触れ、ぬくもりを感じながら、自由な色彩で新たな命を吹き込みました。





木彫りのお面を張り付ける背景には、コロコロアートを貼り付けました。スマイルステーションで、学習したプリントなどを利用し、ペンキをつけたビー玉をコロコロコロコロ、「自分のリズムで、自分が気に入る彩りになるまで続けてね。」小宮さんの声掛けにそれぞれが自分のペースで、安心して、作品作りに没頭していました。

出来上がったコロコロアートを最後は自分で破り、みんなの作品と重ね合わせて張っていくことで生まれる新たな色彩を背景に描いていきました。

子どもたちと一緒に最後の仕上げをしながら、改めて作品を見て、作品の背景を彩るコロコロアートがまさに変化の大きな現代社会を表し、その中に浮かび上がる木彫りのお面のひとつひとつの彩りが、一人一人の思い切り輝く個性を表している、そんなイメージが浮かび上がってきました。



< 2025.3.29 我小学校の卒業生有志主催による「さよなら旧校舎イベント」に作品を展示 >

「うわあ、これずっと階段のところに展示してあったやつやんなあ。すごい、変わってる。びっくり!!」と観ていただいた方から、たくさんの驚きの声をいただきました。

作品を展示させていただいた廊下の壁。ここに皆さんからメッセージを書いていただけるようにしました。真っ白だった壁が、この場所を巣立っていった皆さんの思い出とたくさんの「ありがとう」で埋め尽くされ、作品制作の思いと重なり、感動の瞬間となりました。



< 2025.4.4 スマイルカラーレイ作品発表除幕式 新教育支援センターにて >

竹内教育長・鍋谷事務局長・藤谷指導課長もお祝いに駆けつけてくださいました。作品の制作に関わってくれた子どもたち、保護者、先生方とともに自分たちが制作に関わった作品が、市の新しい施設を彩る瞬間を共に喜ぶことができました。

この作品が、「いつの日も皆が笑顔でつながりあい、自分の個性と彩りを発揮していくことの象徴」となることを願っています。

